

沢田ともふみ 議員活動報告



磐田市の歴史文化の魅力を後世に

日頃より、沢田智文の県政活動に対し、ご理解ご支援をいただき感謝申し上げます。今年度は、文化観光委員会と自然災害対策特別委員会に所属しています。6月の定例会では、一般質問を行いました。裏面に質問内容と県当局の答弁を記載してありますのでご覧ください。今回は、令和7年度までに10選が登録される「しずおか遺産」に注目しています。様々な魅力があふれる磐田市ですが、その一つに後世に残すべき歴史、文化があります。「しずおか遺産」は日本遺産への登録を目指し、行政区を越えた歴史ストーリーを作り上げ、歴史文化に対する理解を深めるとともに観光利用にもつなげていくものです。磐田市においても登録されるようにしていきたいと思っています。

静岡県議会議員 沢田 智文

**本年度は、
「文化観光委員会」
に所属**

6月定例会の文化観光委員会では、ラグビーのレガシー創出に向けての取組として静岡ブルーレヴズに期待すること、静岡芸術劇団SPACの貴重資源の生かし方、しずおか遺産の市町への支援などについて質問しました。磐田市は多くの遺産や文化が引き継がれてきました。今後の地域継承についての支援策を考えていきます。

今年度は、2つ設置された特別委員会のうち、「自然災害対策委員会」の委員にもなっています。自然災害に強い静岡県づくりをすすめていきます。

活動報告

地域の皆さんと共に



見付本通りから国1までの今之浦川にロープを渡し、今之浦川(中川)に色とりどりの鯉のぼりが約150匹飾られました。そのお手伝いをさせて頂きました。



20回目を迎える「いわた大祭り」が3年ぶりに城山球場に移して開催されました。「遠州大名行列・舞車」に参加、中小姓役として参加しました。



豊かな教育を

「広島県立叡智学園」視察

国際バカロレア認定の県立高校です。世界の複雑さを理解して問題に対処できる生徒を育成し、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けさせるとともに、国際的に通用する大学入学資格を与え、大学進学へのルートを確保することを目的として設置されました。



「教育ソリューション in 大阪」視察

最先端の教育システムや教材が見られました。最先端の校務支援ソフトは、教職員の定数改革が進まない教育現場にとって働き方改革が格段に進むのではないかとと思われるものがありました。すでに導入している自治体を視察し、今後の取組に生かしていきます。

県民の安全・安心を



「京都大学防災研究所」視察

突発性の災害について調査研究を行っています。今回は熱海市の土石流災害についても意見交換をしてきました。気候変動による自然災害に強いまちづくりを今後も進めていきます。

「県環境衛生科学研究所」視察

静岡県の環境と県民の健康を守るために各試験検査及び調査研究に取り組んでいる機関です。静岡県が三島市に設置表明している感染症専門施設との業務連携や今後の方針について意見交換しました。県民の安全・安心の確保を引き続き進めていきます。



起業家への支援を

「株式会社taliki」視察

目の前の課題に対し、よりよい社会をつくろうと事業を立ち上げる起業家を応援している株式会社talikiの代表取締役CEO中村多伽さんから、京都でのスタートアップシーンや投資のポイントについてお聞きし、意見を交わしました。待機児童問題、中小企業の後継不在、海洋汚染など社会の様々な課題解決につながる起業家への支援のあり方を探っていきます。



上記以外の活動報告

- 4月 ● 地域懇談会
- 労働者共同組合学習会
- ふじのくに茶の都ミュージアム・富士山静岡空港視察

- 5月 ● 中遠地協メーデー・労福協フェスタ
- 地域防災教室
- 国際お茶の日シンポジウム
- いわた大祭り遠州大名行列舞車

- 6月 ● 浅羽海岸清掃活動
- 県立ふじのくに中学校説明会
- ふれあい交流センター地域清掃活動
- すぱっくおやこ小学校視察

- 7月 ● 磐田市日本語教室視察
- 田代ダム視察
- 地域納涼祭参加
- 函南メガソーラー計画視察

ON AIR

FM ハローイブニングサテライト出演

4月・5月・6月・7月



ふじのくに県民クラブの仲間と毎週土曜日17時からFMハローのラジオ番組に出演しています。しずおか遺産、高校で始まる金融教育、静岡県立夜間中学の開校、子宮頸がんワクチンなどを話題として取り上げました。政治を身近に感じてもらえるように努めていきます。

6月県議会、一般質問に登壇!

6月20日



6月定例会(6月14日開会、7月1日閉会)での一般質問と答弁の要旨を報告いたします。全文、および動画は、静岡公式ホームページに掲載されています。

しずおか遺産による取組について

質問要旨

「しずおか遺産」への登録を目指す市町にとって、どのような効果が期待されるか。将来的展望は。

本県には、貴重な文化財が多数存在しているが、担い手不足の影響から、保存・継承が課題となっている。「しずおか遺産」認定制度は、地域全体のストーリー性として繋ぐことにより、「見える化」できる。市町と連携して、地域に眠る貴重な歴史資源を発掘し、「日本遺産」の登録が拡大される際には、候補として提案できる。郷土の歴史文化を物語化することで、地域の将来を担う子どもたちにとって、郷土愛を育むきっかけになる。

認定審査専門委員については、審査に加え、内容の充実への助言を得られる方を選んでいきたい。認定後は、「しずおか遺産」を開発する親しみやすい動画を作成し、地域の観光施設等と連携し、県内外にも情報発信する等、周知を図っていく。誰もが文化財に親しむ機運を醸成し、確実に未来に守り伝えられていくよう、市町と連携して取り組んでいきたい。

県内産業を担う人材確保について

質問要旨

課題をどのように分析し、今後の人材確保につなげていくのか。

「静岡県産業人材確保・育成プラン※」は、18項目中、約7割の項目で目標を達成し、一定の効果を上げた。特に、経験豊かで即戦力となる高度人材と県内中小企業をつなぐ取組は、全国トップクラスの実績である。若い世代の増加にも繋がっている。

新型コロナの影響でライフスタイルの多様化やデジタル化の急速な進展への対応等新たな課題があり、「静岡県雇用・人材対策」として本年3月に対策をまとめた。

大学生低学年を対象とした県内産業への関心を喚起する取組を新たに開始する。新しい働き方の導入を促進するとともにデジタル化の進展に対応するため、デジタル化関連分野の在職者訓練の強化等に取り組む。産業界、労働界、教育界等幅広い分野の関係者と連携を図っていく。

※県内産業の担い手となる人材の確保・育成をするために、中・長期的な視点で静岡県が策定したプラン。

子供の安全確保について

質問要旨

新たな手法を活用した子供の安全確保に向けた取組は。

防犯アプリを活用した防犯マップ作成プロジェクトについては、常葉大学が萩丘小学校や浜松中央警察署と協力して推進している。多人数での情報共有が可能となり、子供が楽しみながら危険察知力を養うことができるものであり、積極的な活用を検討していく。県警察においても、現在スマートフォン用の防犯アプリについて本年度中の公開に向け開発を進めている。必要な情報をタイムリーに提供することで子供の安全確保に向けた取組を更に進める。

県立ふじのくに中学校の教育提供体制について

質問要旨

ニーズに合った教育の場をどのように提供するのか。県内広域にわたる入学希望者へどのように対応していくのか。

夜間中学の設置は、多様性と社会的包摂を象徴する取組であり、全国から注目されている。設置目的は学齢期を超えた方が義務教育を学ぶ場としている。現在、生徒の学習状況や日本語能力に応じた授業コースの設定、ティーム・ティーチングによる授業、端末を用いた個別学習や翻訳ソフトの活用等について検討している。入学決定後は、個々のニーズや状況を確認し、具体的な体制を整えていきたい。

一人一人の状況を丁寧に確認し、自治体や民間団体が行う日本語教室等、希望に合った学びの場につないでいく。関係機関と連携し、学びたいと思う誰もが十分に学べる場を得られるよう、学ぶ場を実感できる学校づくりをすすめていく。

人・農地プランの法定化について

質問要旨

人・農地プラン※の法定化に向け、今後の取組は。

農業経営基盤強化促進法が改正され、地域が目指す農地利用の将来像を描いた地域計画を市町が策定することになった。県では、全ての市町、農業委員会と現場の実情を把握するための意見交換を行った。策定方法等について計画の理解が隅々まで浸透するように取り組んでいく。また、市町ごとに設定するモデル地区をケーススタディとして、農業振興公社やJA等関係機関と連携しながら、手本となる計画づくりを支援していく。

期限である令和6年度末までに、県内各市町が着実に計画を策定できるよう支援していく。

※人・農地プランとは、農業者が話し合いに基づき、地域農業における中心経営体、地域における農業のあり方などを明確化した「地域農業の設計図」。

教員の研修管理システムの活用について

質問要旨

研修管理システムの活用を実効あるものにするためにどのように取り組むのか。

教育公務員特例法が改正され、来年4月には研修履歴の記録等が義務化される。効果的・効率的に管理・活用ができるよう既存のシステムの見直し、研修の実効性を高めていく。

今後組織される静岡県教員育成協議会において、記録する対象範囲や内容を検討していく。今後、国が示すガイドラインを参考に県内教職大学院との連携や研修の拡大、多様なeラーニング※を受講できる環境整備等、機能強化を進めていく。教員自身がキャリア形成を積極的に行うとともに、新たな知識・技能の習得に取り組む意欲ある人材の育成に努めていく。

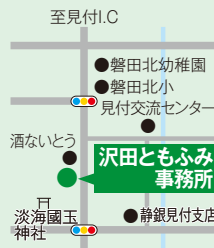
※eラーニングとは、学びを電子化したもの。つまりパソコンやタブレット、スマートフォンを使ってインターネットを利用して学ぶ学習形態のこと。

県政に対するご意見・ご要望等ございましたら、お気軽にご連絡ください。



静岡県議会議員

沢田ともふみ
事務所



〒438-0086
磐田市見付(二番町)2469
電話:0538-39-2500
FAX:0538-24-8128
メール:qqrf9nu9k@wind.ocn.ne.jp

